

二人でのりこえる

水野海夏

私は母親と二人暮らし。私の母はシングルマザーで小学生の時から母親と二人暮らしの生活を送っています。

小学生の時は、学校から近い祖父父母の家に帰り、母のむかえを待つ日々でした。帰ってすぐにご飯の支度をする間に私はお風呂をすませ、ご飯は必ず二人で食べるという日々。その食事の間が唯一母とゆっくり話せる時間でした。

そして、中学生になり、祖父父母の家ではなく、自分の家に帰るようになり、母の帰りを一人で待つ日々になりました。ですが、なぜか一人で待っている事、そこまでさみしさを感じたことはなく、母の仕事が忙しく帰りが遅くなる日などは、夜食の用意をしてくれていたの一人でご飯を食べる日もありましたが不思議な事に自分の好きな時にご飯を食べれて、お風呂にも入れると自由さを感じていました。それと同時に母との会

話も自然と少なくなりました。

中学一年生の時は、母も私との時間より、仕事優先の生活でした。学校行事にも参加していなかった方が多かったのです。

ですが、中学二年生になり、母から、私との時間を優先したいと言われました。母なりに色々と考え、悩んでいたのだとその時初めて知りました。一年生の時には、ほとんど参加しなかった行事にも仕事を休んで参加してくれ、今まで少なくなっていた話していた会話も一緒に過ごしている時はずっと話すようになりました。もちろん夜食も一緒に食べました。学校での出来事、悩み事などたくさん話しました。学校での楽しい出来事、母に話したい事を毎日メモをとって母が帰ってきたら、メモを見ながら母と話すのが私自身の楽しみでもありました。小学生の時は、当たり前だと思っていた

この時間も本当は当たり前ではなかったんだとあらためて感じました。そして、その時は母とすごせる時間がとても幸せでした。

ですが、中学三年生になり、今まで楽しくかわしていた会話も日に日に苦つうになっていく事が自分でもわかりました。毎日「今日の学校はどうだった」と聞かれる事にめんどくささを感じるようになってしまいました。そして、受けん生でもあるため、勉強の事も色々聞かれる事が増え更に、私自身ストレスを感じ、そのストレスが態度に出て、母と衝突する事が増えてしまいました。私との時間を優先した事でけんかが増え、会話もまたなくなってしまうのです。会話をしてもすぐに言い合いになり、母との関係は悪くなるっぽうでした。会話をしても目を合わせない事もありました。私も母も精神的に限界だったのかもしれない。

その時、私には一人部屋がなく、どこにいても母の顔が見える生活でした。それもストレスの原因だと思います。それは母も同じ考えでした。母から今の関係

を良くするために引越しをしないかと言われしました。おたがい一人の時間、空間が必要なのではないかと。

そして、引越しが終わり、落ちついた頃に母と向き合い色々な話をしました。その時に母は泣きながら、「この家には、パパがいない。だから、ママがパパのかわりもしないといけないから嫌われても、めんどくさいと思われても仕方ない。」それが私の役目なんだと。号泣する母の意見を私はたうなずきながら聞くことしか出来ませんでした。親子だからこそ、衝突もする。親子であつても、おたがい言いたい事も言えない事もある。けど、色々な事をのりこえてこそ、本当の親子なんだと強く感じました。私には、父もいない、兄弟もいない一人っ子。私には一つ下の妹がいるはずでした。ですが、産まれてきた時には、心ぞうが動いてなく、そのまま一度も心ぞうが動くことなく亡くなってしまったのです。妹が居てくれたらと考える事もありません。そして、父と母、妹、私の四人家族だったらどのような家族関係をきつけていたのかと考える事もあります。ですが、私

は母と二人暮らし。今でも母と衝突する事も沢山あります。ですが、今の私は母の気持ちが少ないですが、理解し、私のためを思ってくれているのだと思える事ができています。私の事を一番に分かつてくれていて、理解してくれ、いつも味方であってくれているのは、母なんだと正直分かっているのです。

これからも、色々な壁にぶつかると思いますが、母と二人でなら乗り越えられると信じています。そして、少しずつ母の力になり、母からも頼られるような娘になれるように自分自身成長していきたくです。